

PRESS RELEASE

Japan creation space monova（モノヴァ）は、モノづくりの情報発信をするショールームです。  
日本各地のモノづくり企業、ギャラリースペースでライフスタイル提案型の企画展を開催しております。

— 今月のオススメ —

— カラーが選べる！光沢とハリ感のある桐生織の布小物 —

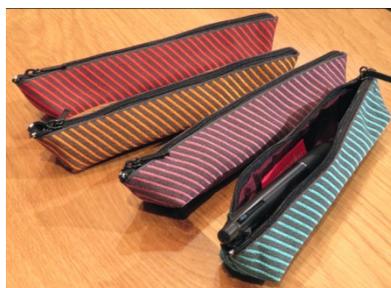


←一部のカラーで新柄も登場。

ポーチ 各3,780円（税込）

### marunakaの緒毬シリーズ

marunakaの緒毬は、群馬県桐生市で古くから作られている小幅の帯を日常使いの雑貨&バッグに仕立てたシリーズです。しっかりとハリ感のある生地は、軽くてとても丈夫。この春から色・柄も増えました。母の日のプレゼントにもオススメです！



#### 細ペンケース

定番の銀杉綾に加え、新たに4色のカラーが登場。かさばらず、持ち運びに便利。各2,592円（税込）

## monova gallery 展示会案内

<現在開催中の展示会> 「織物屋が作る傘・日傘展」4/25（火）まで



4月27日(木)～5月23日(火)

### 天女の羽衣の羽衣スカーフ展

天女の羽衣スカーフ コレクション2017年春夏の新作をお届けします。トレンドである花びらをモチーフに、ふわりと軽やかな新鮮なスカーフをご紹介します。



5月25日(木)～6月6日(火)

### 鯖江発 趣・工芸の逸品展

お客様に喜ばれるもの創りを主眼に活動する鯖江ギフト組。楽しく実用的、そして趣きのある自慢の製品を揃えて紹介します。

百年様式  
SABAE STYLE®

こ か お  
ち な メ  
ら う ガ  
で 品 ネ  
す は に



鯖江「ギフト組」

<お問合せ> Japan creation space monova 担当：藤本  
tel：03-6279-0688 mail：[info@monova-web.jp](mailto:info@monova-web.jp) WEB：<http://www.monova-web.jp>

monovaでは各メーカーとの直接のお取り引きをサポートしています。  
ご関心のあるバイヤー・プレス様に出展メーカーをご紹介しますので、気軽にお声掛け下さい。

## 2017年度常設スペース 新規参加メーカーのご紹介

2017年4月から、新たに3社のメーカーが加わりました。  
残してゆきたい日本文化、また新たなスタンダードとなり得るものづくりを、ぜひご覧ください。

染色、服飾小物／沖縄県

### (株)あざみ屋

ミンサー織に込めた想いを、さまざまなカタチに

国の伝統工芸品でもある沖縄・石垣島の織物「八重山みんサー織」の象徴的な五つと四つの柄模様には、「いつの世までも未永く・・・」という願いが込められています。

1971年創業のあざみ屋は、この伝統を守りつつシャツやバッグ、小物などの創作活動を精力的に行っており、また地元有数の観光スポットでもある「みんサー工芸館」を運営する会社です。 <http://www.minsah.co.jp/>



化粧筆、書筆、絵筆／広島県

### (株)中村製作所

毛先を極める、暮らしのなかの熊野筆

江戸時代後期から筆づくりが行われているという広島県熊野町。1953年創業の中村製作所は、その伝統を守りつつ手作業と自社開発の機械を組み合わせることで品質の安定化を計り、化粧筆や絵筆、書筆など多彩な筆づくりをしています。筆の毛を熟知した職人の手によって、毛先を生かした筆作りをすることで繊細なタッチを実現します。

<http://www.kumano-nakamura.jp/>



漆器製造、卸売業／東京都

### 玉川漆器(株)

日本のモノづくりの普及に力を注ぐパートナー企業

玉川漆器は、漆器卸専門として1945年に創業。全国の漆器産地に仕入先を持ち、現在、百貨店の約80店舗へ商品を卸している業界最大手の問屋です。現在、漆器の他にもガラス・鉄器・七宝・和紙など、各地の伝統的工芸品など地域産品を取り扱い、アイテムの拡充を図りながら、産地支援もするなど日本製品の普及に貢献しています。

<http://www.tamagawa-sikki.co.jp/>



<お問合せ>

Japan creation space monova

担当：藤本

tel：03-6279-0688（10：30-19：00 水曜定休） / mail：[info@monova-web.jp](mailto:info@monova-web.jp) / WEB：<http://www.monova-web.jp>

株式会社 榎田商店 主催  
**「織物屋が作る傘・日傘展」を開催！**  
 2017年4月13日（木）～2017年4月25日（火）

創業150年の山梨県・郡内織物(甲州織)メーカーの榎田商店。  
 先染から生まれるこだわりの生地で作られる、北欧デザインの新作傘をご紹介します。

日本と北欧の歴史のコラボレーション

榎田商店の織り技術で表現する、北欧デザインの傘

Stig L.™



今年で5回目を迎える榎田商店の傘・日傘展。1866年、山梨県で創業し、「もったいない」という素晴らしい言葉をキーワードに、日本の風土に根差した文化を大事にしたものづくり考えてきました。江戸時代から培った織物技術を、傘生地作りや服生地作りに昇華させ、その織物技術を活かした傘づくりをしています。

今回発表するのは、「Stig Lindberg (スティグ・リンドベリ)」シリーズ。2016年は、リンドベリ生誕100周年、榎田商店にとって創業150周年という記念すべき年であり、両社の新たな取り組みとしてコラボレーションが実現しました。リンドベリ遺族の厳しい監修のもと、榎田商店が長年培ってきた先染ジャガード技術により、オリジナルデザインを見事に再現したラインナップが揃いました。1947年にリンドベリが初めて手掛けたテキスタイルデザインである人気のデザインが、様々なカラーバリエーションにより展開されます。シックだけれど、繊細で楽しい。ユニセックスで持っていただける製品をご紹介します。

【展示内容】

- ・新製品 「Stig Lindberg (スティグ・リンドベリ)」シリーズ  
 「ポテリー(POTTERY)」、「ハーバリウム(HERBARIUM)」写真1  
 「フルクトラーダ(FRUKTLADA)」写真2 など4デザイン
- ・他、「葉-sai-」シリーズ、「1866」シリーズなど

■実演会開催■ 2017年4月15日（土）

榎田商店スタッフが在店し、実演を行います。リンドベリの傘を使って“中とじ”という傘づくりの工程をご覧いただけます。

■スティグ・リンドベリについて

スティグ・リンドベリ(1916～1982)は、スウェーデンに生まれた陶芸作家で、ストックホルムにある、スウェーデンを代表する老舗陶磁器メーカー・グスタフスベリ社の専属デザイナーとして活躍しました。セラミックはもちろん、ガラス、テキスタイル、工業製品など、手がけた製品は多岐にわたり、スウェーデン黄金期、ミッドセンチュリー時代を代表するマルチなアーティスト、アートディレクターです。

【株式会社榎田商店 概要】

創業1866年。山梨県にて甲斐絹織物卸業として事業を始める。生地作りにおいて最適な規格製造のノウハウ、様々なデザインからの展開力、また自由な織柄を織ることができる特殊な織機を保有。傘は、自社職人により作られており、国内では例を見ない、デザイン・生地製造・製品製造の一貫生産をとっており、山梨県郡内織物産地の『歴史・新しい技術・匠の技の融合』により作られている。 [www.makita-1866.jp](http://www.makita-1866.jp)



－開催概要－ 織物屋の傘・日傘展

会 期：2017年4月13日（木）～2017年4月25日（火）  
 10:30 - 19:00 /最終日は17:00迄 水曜定休 入場無料  
 会 場：monova gallery  
 場 所：東京都新宿区西新宿3-7-1  
 リビングデザインセンターOZONE 4階  
 主 催：株式会社 榎田商店

天池合織株式会社主催

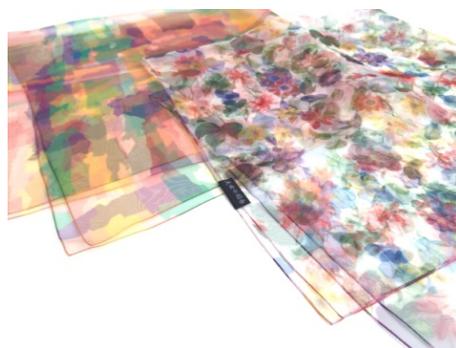
## 「天女の羽衣スカーフ展」を開催！

2017年4月27日（木）～2017年5月23日（火）

天女の羽衣スカーフ コレクション2017年春夏の新作をお届けします。  
トレントである花びらをモチーフに、ふわりと軽やかな新鮮なスカーフをご紹介します。

## 天女の羽衣®

Amaike Super Organza

世界を魅了する極薄テキスタイル  
軽やかに、光の花々をまとうスカーフ

今年の春夏の新作は、トレンドである花のモチーフがテーマ。クラシックな花柄プリントや1つ1つ立体手的な花びらをあしらったアップリケスカーフなど、初めて手に取る方にも、コレクションしていただいている方にも新鮮なスカーフをご紹介します。天女の羽衣は、毛髪の約1/5～1/6程の極細ポリエステル糸で織り上げた世界最軽量級の素材です。保温性にも優れ、薄くて軽いので持ち運びに便利。お出かけや、ギフトにもおすすめです。

## 【展示内容】

## 1)ちりめんアップリケスカーフ(写真上)

光沢を抑えたスモーキーな玉虫色の生地を使い、花びらが首元を包み込むような立体的な仕上がりにしました。アクセサリ感覚で使いたい一枚。

## 2)花柄プリントバンダナ(写真中・下)

クラシックな小花がふわりと揺れる、ブラウスの襟元やヘアアレンジに加えるなど、使い方も自由。

## 【天池合織株式会社 概要】

石川県七尾市に1956年創業。インテリア、スポーツ、産業資材など高付加価値織物の糸加工から製織工程まで自社一貫で製造開発を行う。2006年より世界一軽く薄い「天女の羽衣®」をヨーロッパ有名メゾンへ直接輸出を始め、2009年、自社製品天女の羽衣スカーフを展開。2010年にはパリオペラ座の舞台衣装に起用される。「技術開発型」メーカーの基盤を確立し、自社ブランド化を目指す。

2013年 第5回「ものづくり大賞」経済産業大臣賞受賞

2014年 グッドデザイン・ベスト100、特別賞「未来づくりデザイン賞」受賞。

2015年 The Wonder 500(経済産業省補助事業)商品として認定。

2016年 OMOTENASHI SELECTION 2016 受賞。

## —開催概要— 天女の羽衣スカーフ展

会 期：2017年4月27日（木）～2017年5月23日（火）

10:30 - 19:00 /最終日は17:00迄 水曜定休 入場無料

会 場：monova gallery

場 所：東京都新宿区西新宿3-7-1

リビングデザインセンターOZONE 4階

主 催：天池合織株式会社

鯖江ギフト組 主催  
「鯖江発 趣・工芸の逸品展」を開催！  
2017年5月25日（木）～2017年6月6日（火）

お客様に喜ばれるもの創りを主眼に活動する鯖江ギフト組。  
楽しく実用的、そして趣きのある自慢の製品を揃えて紹介します。

1)



## 初の3社合同展示会

## 鯖江が贈る 大人の愉しみ

1500年の歴史を持つ漆器産地でもある福井県鯖江市は、近年は世界に誇るメガネの生産地としても知られています。それぞれ機能を追求し、さらに大人の愉しみという趣味性をもった製品が創られてきています。今回は、その鯖江でモノづくりを行い、広く支持を得ている3社(乾レンズ・サンユウ・西村プレジジョン)による初の合同展示会を開催いたします。他にない、ここならではの逸品が揃います。是非、ご来場ください。

2)



## 【展示内容】

## 1) スウィンググラス(乾レンズ)

どこかレトロなのルーペ。跳ね上げ式でレンズが1つから2つに変わります。胸元からスッと出し、レンズを開いてルーペの向こうを覗く仕草までもお洒落にデザインされてます。

## 2) ちょこぼん(サンユウ)

ミニ盆栽「ちょこぼん」は、気軽にお部屋の中に小宇宙を演出し、インテリア感覚で楽しめる古くて新しいモダンな越前塗りの技術を生かしたミニ盆栽です。

## 3) ペーパーグラス(西村プレジジョン)

厚さ2mm。葉のように本などに挟める薄型で、軽量、コンパクトなデザインが特徴のペーパーグラスは、携帯にも便利な楽しく美しい老眼鏡です。

※2013年度グッドデザイン賞BEST100受賞、2014年度アジアデザイン賞ブロンズ賞受賞、2016年度おもてなしセレクション金賞受賞

## ◆鯖江ギフト組 概要◆

鯖江ギフト組は2009年に眼鏡部品メーカーが有志で集まった委員会。メーカーとして蓄積してきた技術でファクトリーブランドを立ち上げ、お客様に喜ばれるもの創りを主眼に活動しています。<http://sabae-gift.jp/>

◆乾レンズ / 1953年よりサングラスレンズを主として生産、販売を実施している鯖江のメーカー。紫外線ケアの観点から、独自に開発したハイドレンズを2003年に開発。専門店や通信販売などの販売を中心に乾レンズのサングラス愛用者を増やしている。

<http://www.inuilens.com/kojin/>

◆西村プレジジョン / 創業1968年の眼鏡部品メーカー・西村金属のグループ会社で、海外との貿易業務、営業販社として1993年に創業。現在も精密部品卸の貿易事業を継続しながら「ペーパーグラス」の企画・製造・販売を行っている。<https://www.paperglass.jp/>

◆サンユウ / 1982年設立。漆器の一大産地でもある越前漆器の技術を活かし、業務用から、現代生活にマッチした製品づくりまで、幅広く展開。近年はメガネ素材に漆を施した製品も開発し、地場産業活性化の一翼を担う企業である。<http://san-you.jp>

3)



百年様式  
SABAE STYLE®

こ か お  
ち な メ  
ら う ガ  
で 品 ネ  
す は に



鯖江「ギフト組」

## —開催概要— 鯖江発 趣・工芸の逸品展

会 期：2017年5月25日(木)～6月6日(火)

10:30 - 19:00 / 最終日は17:00迄 水曜定休 入場無料

会 場：monova gallery

東京都新宿区西新宿3-7-1リビングデザインセンターOZONE 4階

主 催：鯖江ギフト組 企画協力：Japan creation space monova

<お問合せ>

Japan creation space monova

担当：藤本

tel：03-6279-0688 (10:30-19:00 水曜定休) / mail：[info@monova-web.jp](mailto:info@monova-web.jp) / WEB：<http://www.monova-web.jp>

株式会社中村製作所主催  
「美しさを誘う熊野の筆展」を開催！  
2017年6月8日（木）～2017年6月20日（火）

伝統を大事にしながらも工夫を積み重ねてきた熊野中村の筆。  
肌あたりの良さと機能にもこだわった化粧筆をご紹介します。

中村

KUMANO-HIROSHIMA

肌への感触と機能を探求  
熊野・中村の「心地よさ」の提案

「熊野筆」で知られる広島県熊野町で、伝統の技法を大切にしながら工夫を重ね、使い手に寄り添った筆づくりに取り組んできた中村製作所。

長年、主要化粧品メーカーブランドでの化粧筆の生産で培われた経験と、独自の技法を活かし、2012年にオリジナルの化粧筆ブランドとして「LADY N」がスタートしました。肌当て時の感触、お手入れのしやすさ、敏感肌への対応など、「美」への悩みや願いに応じた化粧筆です。

毎日使うものだからこそ、肌と心に響く“心地よさ”を大切にしたいシリーズをご紹介します。

【展示内容】

- 1) 操作と機能を重視したメイクにこだわる方へのシリーズ「Kei」
- 2) 肌当たりの良さと使いやすさを両立させたスタンダードシリーズ「Nao」
- 3) 快適な使い心地の化学繊維ブラシシリーズ「Ai」
- 4) さらにスタンディング仕様にかえたシリーズ「Moe」

◆株式会社株式会社 中村製作所 概要◆

広島県熊野町に1953年創業。日本最大の筆の産地である地域とともに筆金具の製造を開始し、後に金属加工の精密技術と伝統的手法を融合させた筆作りを行う。創造・表現の道具として使ってくださる方々の立場になって、心地よく使い続けられる信頼性のある商品作りをすることを大切にしております。

<http://www.kumano-nakamura.jp>

－開催概要－ 美しさを誘う熊野の筆展

会 期：2017年6月8日（木）～2017年6月20日（火）  
10:30 - 19:00 /最終日は17:00迄 水曜定休 入場無料  
会 場：monova gallery  
場 所：東京都新宿区西新宿3-7-1  
リビングデザインセンターOZONE 4階  
主 催：株式会社中村製作所



# 滋賀麻工業株式会社 主催 「shigaasa展 ～麻と暮らす2017～」を開催！

2017年6月22日（木）～2017年7月4日（火）

見た目にも肌触りも爽やかな麻素材の寝装具で、気持ち良い生活をサポート！  
避けられない蒸し暑さとうまく付き合う、麻製品をご紹介します。

 **Shigaasa**

日本の夏に天然の麻を

## 特許素材の麻わたを使った寝具などをご紹介します



写真1



写真2



写真3



写真4

リネンやラミーなどの麻素材は、日本の蒸し暑い夏にはもってこいの天然素材です。吸放湿性が高く、汗をかいてもサラリとするほか、接触冷感に優れることもその理由です。この展示では、麻繊維の加工を得意とする滋賀麻工業のオリジナルブランド「shigaasa」の商品をご紹介します。

滋賀麻工業が開発した特許素材の「麻わた(a・sarari)」を使った寝具類のほか、近江ちぢみの寝具、また日常で気軽に使えるカラフルなハンカチ、クッションカバー、新作となるチェアマット、ブランケットなども紹介します。

### 【展示内容】

- ・シーツ、ベッドカバー、ピローケース、敷きパット、クッションカバー …写真1
- ・近江ちぢみハンカチ …写真2
- ・ブランケット …写真3
- ・チェアマット…写真4

### ◆Shigaasa 紹介◆

Shigaasaは、近江を本拠とし約70年の歴史を持つ麻織物メーカー・滋賀麻工業(株)が展開する麻製品ブランドです。近江ちぢみはシャリ感、リネンは使えば使うほどに柔らかくソフトな肌触りが出ます。Shigaasaでは、厳選された麻を使用した寝具、リビング用品、日用雑貨などを通じて、麻のある上質な暮らしを提案しています。

<http://www.shigaasa.jp>

### －開催概要－ shigaasa展 ～麻と暮らす2016～

会 期：2017年6月22日（木）～7月4日（火）  
10：30 - 19：00／最終日は17：00迄 水曜定休 入場無料  
会 場：monova gallery  
東京都新宿区西新宿3-7-1リビングデザインセンターOZONE 4階  
主 催：滋賀麻工業株式会社

<お問合せ>

Japan creation space monova

担当：藤本

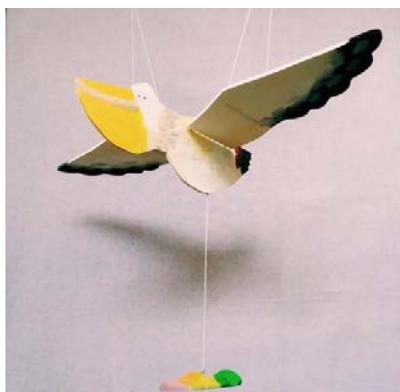
tel：03-6279-0688（10：30-19：00 水曜定休） / mail：[info@monova-web.jp](mailto:info@monova-web.jp) / WEB：<http://www.monova-web.jp>

monova主催

## 「irikiのぱたぱた鳥モバイルワークショップ」を開催！

2017年5月3日（水・祝）・5日（金・祝） 2日間

のんびり自由で優しい線の「iriki」の糸のこ木作品。  
オリジナルの鳥モバイルを作るワークショップを開催いたします！



### のんびり、自由な線が心地よい リビングに羽ばたく“わたしの鳥”

Iriki(イリキ)の糸のこ木作品は、自然のなかの不思議なかたち、おもしろい色から生まれます。森を歩き、山を探検し、海を散策して、たくさんのお気に入りのかたちを見つけだし手のひらの上でよく観察するところからデザインが生まれます。糸のこで切り出された木材の線はシンプルで、自然を観察して生まれた形はゆったりとした雰囲気醸します。

今回の「ぱたぱた鳥モバイルワークショップ」では、5種類の鳥の形から好きなものを選び、アクリルガッシュを使って着彩、乾燥後に紐を通して組み立てを行います。紐を引くとぱたぱたと翼が上下し、羽ばたきます。リビング空間が楽しくなる、オリジナルの鳥モバイルを作ってみませんか？

※4月27日(木)～5月9日(火)は、ショールーム内にirikiの販売コーナーを設置。マグネットやオーナメント、オーダー制のネームプレートや5月人形などをご紹介します。

## ◆iriki 紹介◆

2014年4月より、主に木の作品を取り扱うプロジェクトとして、夫婦で活動をスタート。長野のアトリエと東京を往復しながら、制作しています。http://iriki.net/

## —開催概要— irikiのぱたぱた鳥モバイルワークショップ

日程：5月3日(水・祝)・5日(金・祝) ※2日間

時間：①11:00～ ②13:00～ ③15:00～

定員：各回6名

参加費：3,000円(税込)

所要時間：30分～1時間程度

【予約方法】 monovaの電話、メールにて受付致します。

お名前・連絡先・日程・時間(①～③)・人数をお知らせください。

※絵の具を使用しますので、汚れてもよい服装でお越しいただくか、エプロンをご持参くださいます様、お願い致します。

&lt;お問合せ&gt;

Japan creation space monova

担当：藤本

tel：03-6279-0688 (10：30-19：00 水曜定休) / mail：[info@monova-web.jp](mailto:info@monova-web.jp) / WEB：<http://www.monova-web.jp>